北九州 市議会だより
みらいつなぐ北九州 60th
2023年（年4回発行） NO.240
令和5年2月15日号
発行：北九州市議会
編集：北九州市議会だより編集委員会
☎582-2632 FAX582-2685

市議会ホームページのご案内
http://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/
市議会だよりや本会議の会議録、インターネット中継などがご覧いただけます。

北九州市の新型コロナワクチン情報

最新情報は市ホームページなどでご確認ください。

市ホームページ「新型コロナウイルスワクチン接種に関する総合案内ページ」▶

▶一般（12歳以上）の接種
引き続き集団接種で「オミクロン株対応ワクチン」の接種を実施しています。
1・2回目接種も含め、早めの接種をご検討ください。

▶乳幼児（生後6か月～4歳）と小児（5～11歳）の接種
個別接種で実施しています。各医療機関で接種日時が異なりますので、予約専用サイトや乳幼児・小児専用コールセンターなどでご確認ください。

予約方法
①インターネット（予約専用サイト） スマートフォンはこちらから▶
②コロナワクチンコールセンター
0120・489・199
■受付時間：9～17時
乳幼児・小児専用コールセンター
0120・489・500
※聴覚障害のある人は F 383・0820
③区役所相談窓口
■受付日時：月～金曜日〔祝・休日は除く〕の9～17時

12月定例会が開かれました

12月定例会が令和4年12月7日から12月15日まで9日間の会期で開かれました。
市長から35件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案について原案のとおり決定しました。また、議員から提出された議案は10件で、うち5件を可決しました。

主な内容		
	1面	本会議での会派質疑・一般質問と答弁 など
	2面	本会議での一般質問と答弁、請願・陳情の審議結果
	3面	本会議での一般質問と答弁、お知らせ
	4面	本会議での一般質問と答弁、議案に対する各会派の賛否一覧、《第4回カフェトークin北九州～議員とまちを語ろう～》を開催！ など

本会議での質疑・質問と答弁

この市議会だよりでは、本会議での質疑・質問と答弁の要約したものを掲載しています。
詳細な会議録は、3月上旬頃から、市立文書館、中央図書館、門司・小倉南・若松・八幡・八幡西・戸畑図書館、市議会事務局でご覧いただけます。
また、市議会のホームページには、2月上旬に会議録（速報版）を掲載します。
なお、市議会・市ホームページの会議録検索システムでの閲覧は、3月下旬頃からとなります。

本会議では次の、延べ31人が質疑・質問を行いました。掲載記事の順番は発言順です。なお、掲載している時間（分）は、議員の発言時間（執行部の答弁を含む）です。各日付の下にあるQRコードから、質疑・質問と答弁の動画がご覧いただけます。
なお、日本維新の会の篠原研治議員は12月15日にも質疑を行いました。

12月7日 会派質疑

日本共産党 荒川 徹 物価高への支援拡充について 30分

議員 光熱費や食材費等の急激な高騰により、市民のくらしと同様に介護等のケアの現場も大きな困難に見舞われている。ケアに携わる事業所等が事業を継続できるよう、現場の現状把握を行い支援を拡充するべき。

市長 本市は物価高騰等の影響について高齢者福祉事業協会にアンケート調査を依頼し、その結果を踏まえ国への要望を行った。国は9月に新たな交付金を創設したため、これを活用した同事業所等への支援のための補正予算案を今議会に計上している。物価高騰は長期化する可能性もあるため、引き続き動向の把握に努め、国や県に対し更なる財源の確保等を要望していきたい。

日本共産党 藤沢 加代 図書館の指定管理について 30分

議員 門司図書館は、高潮浸水想定区域のJRの土地に新築予定の門司港地域複合公共施設1階に移転する計画である。水害の際、蔵書の2階への移動等の安全確保を今後の指定管理で対応できるビジョンがあるのか。

教育長 新・門司図書館の蔵書のうち、浸水時にも確実な保管が必要な資料的価値のある貴重図書等は約8千冊を想定しており、保管場所を2階以上に確保することや、分館や中央図書館等で分散して所蔵すること等を検討している。市ができる限り防水対策を講じる予定で、現時点で指定管理者に負担を求めることは想定していないが、今後必要があれば検討していくこととしたい。

12月7日 一般質問

公明党 冨士川 厚子 出産・子育て応援交付金事業について 30分

議員 本年度の交付は急を要するため現金給付が考えられるが、安心して出産・子育てができるよう、保護者のニーズに沿った継続的な支援が必要だと考える。東京都が行っているポイント制等を活用してはどうか。

市長 国が創設した同事業では、経済的支援として妊娠と出生の届出のタイミングでそれぞれ5万円相当を自治体の判断する方法で支給するもので、本市は今回、速やかな提供を行うため現金支給を考えている。ポイント制のクーポン等は利用目的が明確になり、より一層子育て支援につながると考えており、将来的なクーポン等の活用に向けた検討について、県と協議を行っていく。

公明党 中島 隆治 太陽光パネルの適正な処理について 30分

議員 太陽光発電の普及が一気に加速したことで、使用済みの同パネルの大量廃棄時代が到来することを見据え、効率的な回収からリサイクルやリユースまで、同パネルが適正に処理されるための仕組みを構築すべき。

環境局長 本市は同パネルのリユース・リサイクルの検討を進めており、来年度から市有施設にリユースパネルを試験的に導入し、効果等を検証する。また、本市等の支援を受けリサイクルシステムの研究開発に取組む市内企業が、来年春からリサイクル工場の操業を開始する予定である。同パネルのリユース・リサイクルを通じ、新たな環境産業の振興につなげていきたいと考えている。

ハートフル北九州 大久保 無我 小中学校教諭の代替教員について 60分

議員 教職員の大量退職の影響で若手の採用が増えた結果、講師不足となり、教職員の産休や病休の際の代替教員不足が深刻化している。それに伴い学校が疲弊し、児童生徒への影響も心配されるが、対策を尋ねる。

教育長 本市では同教員の確保に向け、大学での講師登録説明会や退職者等への働きかけ等に取組んできた。7月の免許更新制の廃止を受け、市立学校の全保護者への講師募集チラシの配布や特別免許状制度の積極的な活用、教員免許状を持つ潜在的な講師の掘り起こしを目的としたペーパーティーチャー支援講座等の新たな取組も行った。同教員の確保に今後も全力で取組んでいく。

日本共産党 高橋 都 中小業者支援とインボイス制度について 60分

議員 コロナと物価高騰で中小業者は経営継続の危機に陥っている。家賃支援給付金や持続化給付金等の直接支援と、事実上の増税策であるインボイス制度の中止を国に求めるとともに、本市独自の支援を行うべき。

産業経済局長等 本市は、指定都市市長会等を通じ事業者支援策のより一層の拡充等を国に要望してきた。市独自ではデジタル化の導入補助等を実施しており、経営力強化サポート事業等を補正予算に計上している。引き続き物価の動向等を注視しつつ国等と連携し、支援に努めていく。インボイス制度は、国において事業者に丁寧な説明を行い、円滑な実施に努めてもらいたいと考えている。

自民党・無所属の会 吉村 太志

SDGsの推進について

30分

議員 SDGsで全国のトップを走る本市が「SDGsを知る」という段階から「SDGsの実践」にステップアップしていくため、今後のSDGs推進及び、特に企業の成長につなげるための方向性について尋ねる。

市長 今月、情報発信の新たな拠点となるステーションを立ち上げ更にSDGsを推進し、教育を通じた未来人材育成も後押ししていく。企業へは、登録制度によるPRやリーディング企業への補助制度等の新たな取組で、SDGsを原動力に成長する企業を生み出し、グローバルなビジネス機会の創出に向けた支援等、SDGsのトップランナーという目標を掲げて今後も取組む。

12月8日 一般質問

日本維新の会 有田 絵里

保育園等の申込手続きについて

30分

議員 現在、ウーマンワークカフェ北九州では、その場で保育園等の申込はできない。各区役所ではなく、同施設内での申込や、オンラインでどこからでもスマホ一つで申込ができるようなIT化を検討できないか。

市長等 同施設内に設置している保育士・保育所支援センターに、市内全域を取り扱う保育所の受付窓口を設けることは、体制整備等に課題があり難しいと考えているが、より一層きめ細かな情報提供ができるよう努めていく。今後は市DX推進計画の取組と合わせ、マイナンバーカードを用いたオンライン申請等、利便性向上に向け市民の声を聞きながら検討を進めていく。

自民党・無所属の会 中村 義雄

選挙における知的障害者への配慮について

60分

議員 障害者差別解消法等によれば今後、選挙においても障害者に対する配慮が求められる。選挙公報や投票記載所での候補者氏名等の掲示、投票用紙等について、知的障害者に対する配慮ができないか見解を伺う。

行政委員会事務局長 本市では、選挙における障害者への配慮として、投票所における点字の候補者名簿や拡大鏡の備え付け等を行うとともに、昨年は障害者団体の協力を得て投票所の事務従事者向けの手引書を全面的に改定し、障害別の特性に合わせた丁寧な対応を行うこととした。今後、改めて障害者の意見を聞き、可能な対応について県の選挙管理委員会や総務省と協議していきたい。

村上さとこ 村上 さとこ

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金について

30分

議員 同給付金の対象は、非課税世帯と非課税世帯並みに家計が急変した世帯に限られており、支給要件が大変厳しく、拡充を求める声を多く聞いている。本市独自で収入限度額の要件を緩和できないか、見解を伺う。

保健福祉局長 同給付金は、物価高騰による家計への影響が特に大きい低所得世帯に対し1世帯当たり5万円を支給するもので、本市の全世帯のうち約3割が対象となり一定の層はカバーできるため、本市独自で支給要件を緩和する考えはないが、物価高騰は全国的な問題で長期化の可能性もある。今後も、生活への影響等を注視し、国や県に対する支援策の要望等も必要に応じて検討したい。

井上しんご 井上 しんご

下関北九州道路の早期建設について

30分

議員 本州につながる関門橋と関門国道トンネルは、重量制限により災害時に大型の建設車両等が通行できないなどの現状がある。若戸トンネル整備時のようにオール北九州で下関北九州道路の早期建設に取組むべき。

市長等 本市は長い間、政府に同道路の早期建設を要望しており、本年は山口県知事等と要望活動を行った。また、同道路が関門地域の一体的発展に必要であることを地元説明会での意見交換等、あらゆる機会を通じ多くの市民に丁寧に説明してきた。今後も、地元の機運を更に盛り上げ、国等と協力し、党派を超えた議員の皆様のご協力を賜りつつ、一層の事業推進を図っていきたい。

日本共産党 出口 成信

ふれあい収集の利用要件緩和の周知と対象者拡大について

30分

議員 国は「高齢者等世帯に対するゴミ出し支援」として特別交付税措置を始め、本市のふれあい収集の利用要件も緩和された。今後は広く周知し、国の支援が生かされるよう対象を拡大すべきであり、見解を伺う。

環境局長 本市のふれあい収集の対象要件は、令和3年度からは、要介護2に満たない方等でごみステーションが急傾斜地等にある方等についても実施しており、今後は幅広く広報していきたい。高齢者等へのごみ出し支援については、社会福祉協議会のふれあいネットワークやシルバー人材センターのワンコインサービス等もあり、これらの利用も促すことで引き続き支援に努めていく。

日本共産党 山内 涼成

保護者負担の個人購入教材・道具について

30分

議員 なるべく個人の負担を減らす観点から、学校からのあっせん品の中で消耗品以外の物、授業で利用頻度の低い物、例えば彫刻刀や裁縫道具、習字道具等は授業の時に学校から貸し出すなどの工夫をしてはどうか。

教育長 教育委員会は、私費で購入する教材の選定に関し基準に沿って精選するよう学校へ通知している。学校では、兄や姉が使用していた物品の使用を推奨する、各自での市販品の購入を認めるなどの対応をしており、使用頻度の低い教材等は公費で購入し共同利用等を行っている。今後も、保護者の経済的負担が過大とならないよう、学校に教材の有効活用等について指導していく。

若松を愛する会 本田 一郎

若松北海岸について

30分

議員 市街化調整区域である若松北海岸一帯について、魅力の一つである自然環境を守りながら観光客を呼び込み、にぎわいを創出していくために適切な土地利用を促す地区計画が必要であると考えるが、見解を伺う。

市長 本市は現在策定中の市観光振興プランの中で、見どころが十分な同地区における滞在型観光の促進を盛り込むこととしているが、同地区への宿泊施設等の設置については、既存建築物を宿泊施設にするなど、建築物の用途変更を認める開発許可制度の弾力的な運用等が考えられる。今後、同プラン等との整合性を図りながら同地区がより魅力的な地域となるよう取組んでいく。

12月9日 一般質問

公明党 木畑 広宣

「おくやみコーナー」の充実と終活支援について

30分

議員 ご遺族の負担軽減のため、亡くなられた方に関する全ての手続きがおくやみコーナーで完結するワンストップ化を推進し、終活支援として生前に自分の思いを記録するエンディングノートを更に周知すべき。

市長等 区役所に開設しているおくやみコーナーのワンストップ化は、人員配置等を含め区役所窓口の在り方全体を考える中で検討することとしている。市社会福祉協議会が製作したエンディングノートは、区役所窓口での配布等を行ったが、今後は民生委員による高齢者への紹介等により周知に努める。今後も、ご遺族の負担軽減に向け更なる市民サービスの向上に努めていきたい。

公明党 村上 直樹

ミライロIDの活用について

30分

議員 ミライロIDは障害者の情報発信や公共交通機関での本人確認用として利用されるスマホ用アプリで、多くの自治体でも活用されている。障害者へのサービス向上のため、本市公共施設での利用について尋ねる。

保健福祉局長 ㈱ミライロが提供する同アプリの導入は、障害者が手帳を提示する心理的負担や事業者の確認作業の負担の軽減を図り、マイナポータルとの連携で信頼性の高い情報の提示ができるとされる一方、障害者団体からは、個人情報を民間企業が取り扱うことへの不安の意見もある。市内公共施設への導入に向け、障害者団体とも丁寧に協議を行いながら導入時期等を検討していく。

ハートフル北九州 三宅 まゆみ

北九州市自慢について

30分

議員 本市の良さを市民にアピールするためにも市制60周年を記念し、各局の所管事業ごとに日本一や自慢を洗い出し市民からも身近な本市自慢を募集して自慢集を作成し、シビックプライドの醸成を図ってはどうか。

市長 本市の各部署では目的やターゲットごとに本市の魅力等をまとめた冊子等を作成・活用しているが、集約したものは作成していない。来年は市制60周年であり、議員のご提案も参考に、本市の魅力等を多くの方に知っていただけるような取組を検討し、若者をはじめ多くの世代に本市に住み続けたいと思ってもらえるよう、より一層シビックプライドの醸成に努めていく。

請願・陳情の審議結果

市政に関する要望があるときは、どなたでも市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

陳情1件が不採択、請願9件、陳情98件が継続審査となりました。

大石 仁人（自民未来）30分
教員採用試験の採用倍率向上について

議員　本市の教員になりたいと思う若者を増やしていくため、アクティビティ等を教員みんなで行うといった、外部委託によるチームビルディング研修を取り入れ、人間関係が良く楽しい職場づくりに努めるべき。

教育長　本市は、教員が生き生きと働き続けられるよう採用前や後にサポートを行うとともに、各学校では教員間の同僚性を高めながら若手教員を育成するためのOJTに取組んでおり、教員からは若年の意見も尊重されるので働きやすいといった声も聞く。今後も、教員の良好な関係性の構築等が効果的に行われるよう、外部委託ではなく教育委員会として学校を支援していきたい。

松岡 裕一郎（公明党）30分
企業誘致と企業と企業をつなぐ交流会事業の実施について

議員　IT企業と本市の強みであるものづくり企業や物流企業等をマッチングできれば、ビジネスの拡大により税収や雇用の増加につながるため、企業と企業をつなぐ交流会事業を推進すべきと考えるが、見解を伺う。

市長　雇用創出効果の高いIT企業については、この数年誘致に注力し、誘致から集積へと新たなステージを迎えている。本市進出企業と地元企業とのマッチングは双方のニーズが高く、多くの企業が一堂に会することでマッチングが効果的に進み、ビジネス拡大につながることが期待されるため、ご提案の交流会の実施について検討し、更なる企業集積に向けて全力で頑張っていく。

渡辺 徹（公明党）30分
今後の北九州空港の発展について

議員　本市は福岡県と緊密に連携しており、知事が議会で北九州空港の軌道系アクセスの実現のため、本市と連携し利用者増加に取組むと答弁した。これまでの集客、路線誘致の取組と今後の方向性について尋ねる。

港湾空港局長　航空会社への市長によるトップセールスや県との連携によるインセンティブ制度の創設等を行ってきた結果、同空港は平成30年度に路線数と利用者数が過去最高を記録した。コロナ禍で旅客数が大幅に減少したが、V字回復を果たすべく既存路線の就航再開への支援強化等、県と連携した取組を引き続き進めていく。今後も、北部九州の活発な交流を支える空港を目指していく。

西田 一（自民党・無所属の会）60分
旦過市場の復興について

議員　同市場の火災後、市も踏み込んで復旧・復興支援を続けているが、来客は3分の1程度しか回復しておらず、特に小売り専門の店舗には依然厳しい状況が続いている。今後の課題と支援の見通しについて尋ねる。

市長　火災跡地に整備したタンガレンガ広場では今月から被災4店舗が営業を開始した。一日も早くにぎわいが戻ることが店舗の売り上げに直結すると考え、市場イベントの情報発信等、集客につながる取組を支援していく。再整備事業では最大26区画の仮設店舗を整備し来年4月からの営業開始を見込んでおり、にぎわいづくりにおいても関係者と緊密に連携し、復興に努めていく。

12月12日 一般質問

伊藤 淳一（日本共産党）30分
介護保険制度の改悪について

議員　政府が進める要介護1、2の方の訪問・通所介護を介護給付から総合事業へ移行することは、介護状態を悪化させる高齢者を増やし、かえって介護給付費を膨張させる。断固反対を表明し中止を申し入れるべき。

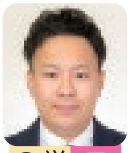
保健福祉局長　要介護1、2の方の生活援助サービスを介護給付から総合事業へ移行することについての国の議論は、今後の介護サービス需要の大幅な増加や介護人材の確保等の課題に対応するためのものと考えており、中止の申し入れは考えていない。これまでも制度を見直す場合は新制度への準備等に十分な時間を確保すること等を国に要望しており、引き続き議論を見守っていきたい。

永井 佑（日本共産党）30分
産後ケア事業の効果的な周知について

議員　市民から「産後ケアがどんなものか分からない。こんなことで相談してよいのかという思いもある」との声がある。産後ケア事業を紹介するチラシに利用者の声を反映し、気軽に相談できることを周知すべき。

市長　同事業の周知は、保健師が面談で妊婦に説明するほか、子育て応援アプリを使ったプッシュ配信等を行っている。利用者の具体的な声は、母親の利用の後押しやあらゆる人が同事業の認識を深めることにもつながるため、チラシ等に掲載していく。今後も、同事業について工夫しながらきめ細かく周知し、妊娠、出産、子育て期の切れ目のない支援にしっかりと取組んでいく。

篠原 研治（日本維新の会）30分
学校給食の異物混入等の対策について



議員　本年度、学校給食で発生した異物混入や品質不良等は80件以上ある。給食調理器具の耐久性等の確認、欠落を防ぐため部品数が少ない同器具を選ぶなどの対策、納入業者への指導について、今後の対応を尋ねる。

教育長　今回の補正予算で、老朽化した同器具の更新と大型給食調理機械の一斉点検の費用を計上しており、今後も点検体制の強化に努めていく。同器具の更新の際は、安全で安心につながるものを最優先に選択したい。また、全ての食材納入業者や米飯製造業者への注意喚起等を実施したところであり、今後も保健所や関係機関と連携を密にし、安全・安心な給食の提供に努めていく。

奥村 直樹（ハートフル北九州）30分
児童養護施設の人材確保について

議員　市内の子どもは減少しているが、社会的養護が必要な子どもや、児童養護施設の児童指導員や保育士を志望する学生の数の推移について尋ねる。また、人材不足により同施設の定員に影響はないか、見解を伺う。

市長　社会的養護が必要な措置児童は減少しているが、令和6年の入所児童の年齢制限撤廃により同施設の必要性は高まると考えている。また、同施設への保育士養成施設からの就職は約3％と低い水準で推移しているため、各施設が人材確保に注力している。現時点では定員への影響はないが、今後も各施設と連携し人材確保等に取組み、施設運営に支障が出ないよう努めていく。

田中 元（自民党・無所属の会）30分
漫画・アニメの「聖地巡礼」について

議員　聖地巡礼による集客交流の活性化を図るため、市内にある漫画やアニメの舞台にふさわしい場所等をパッケージ化し、漫画家やクリエーター等に紹介することについて見解を伺う。

市長　本市は、街のにぎわいづくりにつながる聖地巡礼の促進のため、漫画に登場した場所等を作者や作品ごとにまとめたマップの配布等、様々な媒体や機会を活用し積極的にPRしており、テレビ放送されるアニメ「ブルバスター」は、本市の風景や歴史等をパッケージ化した資料を紹介したことで藍島がモデルになったと聞く。今後も本市の様々な魅力を積極的に紹介し、更なる聖地巡礼につながるよう努力する。

渡辺 修一（公明党）30分
不妊治療と仕事の両立について

議員　同治療に対する職場の理解促進や休暇を取りやすくする環境整備等、まだ改善の必要があると考える。少子化対策につながるものとして、仕事を続けながら同治療を継続できる更なる環境づくりについて尋ねる。

市長等　妊娠を希望する市民への情報提供や相談対応等の取組を継続して行い、今後は企業との連携や北九州イクボス同盟の仕組み等を活用し、国が創設した企業への助成制度と併せて、同治療の特徴や保険適用を周知していく。県や他都市を参考に、出産前の方にも分かりやすい市ホームページでの情報提供等、同治療と仕事の両立のための環境づくりに積極的に取組んでいく。

岡本 義之（公明党）30分
ホラシスアジアミーティングについて

議員　世界の環境首都を目指す本市にとって、コロナ後初の対面による大規模国際会議として、ホラシスアジアミーティングが本市で開催されたが、その成果と次回以降の本市での開催の可能性について尋ねる。

市長　11月に国内外から23か国・地域、約200名の経営者等が参加した日本初開催の同国際会議では、SDGsに加え未来志向の議論が本市から発信された。北九州らしいおもてなしで歓迎し、併催事業は学生達が活動の輪を世界中に広めるきっかけづくりとなり、参加者へは本市の誇る環境技術等を紹介できた。次回以降の開催は、地元経済界等の意見も聞き検討していく。

お知らせ

視覚障害（1級か2級）のある方に、市議会だよりの点字版、テキスト版CD、音声版CDなどを無料でお届けします。
【問い合わせ】市議会事務局政策調査課
☎582-2632　FAX 582-2685
聴覚障害のある方が本会議の傍聴を希望される場合には、要約筆記者や手話通訳者の派遣先を紹介しています。事前にお問い合わせください。
【問い合わせ】市議会事務局総務課
☎582-2621　FAX 582-2685

ハートフル北九州 森 結実子 動物愛護センターについて 30分

議員 令和3年度の予算で、持続可能な犬猫致死処分ゼロ社会の実現を目指して、動物愛護及び管理に関する施策について有識者等から意見を伺うためのあり方検討会を設置したが、どのような議論がなされたのか。

保健福祉局長 昨年9月以降、4回にわたり同検討会を開催し様々な議論が行われた。犬猫の譲渡に関しては効果的な情報発信やボランティア団体の負担軽減等、多頭飼育崩壊に関しては同センターと行政の福祉部門との情報共有等、ペットとの同行避難に関しては避難所の受入れ体制等、多くの意見をいただき、適宜対応した。今後も意見を踏まえ人と動物の共生社会の実現に着実に取組む。

ハートフル北九州 白石 一裕 北橋市政16年を振り返って 30分

議員 北橋市長は市長就任以来、市政運営のかじ取りでは「市民党」の立場から「人にやさしく元気なまちづくり」を推進してきた。北橋市政における成果は枚挙にいとまがないが、自身の総括についての見解を伺う。

市長 対話を大事に市政運営に当たってきたが、民意を代表する議員の発言が一番重いことだと16年経って思う。様々な事業が実現したのは議会の後押しのおかげであり、職員の努力に大きく支えられていたのだと感じる。今後、県との信頼関係を生かし脱炭素の中で空港や物流、洋上風力等の様々な投資が、議会の英知の結集により次期市長の下、前進することを心から願っている。

令和4年12月定例会 議案に対する各会派の賛否一覧

詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。
https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001018086.pdf

種別		件名	議決結果	自民・無	公明党	ハート	共産党	維新の会	自民未来	変革	井上し	村上さ	若松
市長が提出した議案	条例	職員の給与に関する条例等の一部改正／職員退職手当支給条例の一部改正／都市公園、霊園、駐車場等の設置及び管理に関する条例の一部改正／小学校、中学校及び特別支援学校の教職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	その他	（仮称）桃園武道場新築工事請負契約締結／春の町団地第1工区市営住宅建設工事請負契約締結／当せん金付証票の発売／公有水面埋立てによる土地確認／町の区域の変更／北九州高速道路整備計画の一部変更に関する同意／市道路線の認定、変更及び廃止／指定管理者の指定（北九州学術研究都市産学連携センター等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		指定管理者の指定（もじ少年自然の家、北九州テレワークセンター、関門海峡ミュージアム等、旧九州鉄道本社、総合農事センター、白野江植物公園、新門司1・2号岸壁等、門司図書館、戸畑図書館）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	補正予算（全て令和4年度分）	特別会計補正予算（食肉センター（第1号）等）／事業会計補正予算（上水道（第1号）等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般会計補正予算（第5号）／特別会計補正予算（国民健康保険（第1号））	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	人事	土地利用審査会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員が提出した議案	条例・規則	北九州市議会委員会条例の一部改正／北九州市議会会議規則の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	意見書	帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書／知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		アスベスト建材製造企業の賠償実行と建設アスベスト給付金法の改正を求める意見書	否決	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×
		マイナンバーカード取得を強制する健康保険証の廃止方針の撤回を求める意見書	否決	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×
		インボイス制度の実施中止・延期を求める意見書／大軍拡をやめ、賃上げを軸にしたくらし・経済の立て直しを求める意見書	否決	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×
		旧統一教会の解散請求を直ちに行い、被害者の救済を求める意見書	否決	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×
	決議	反社会的な旧統一教会に関与しないことを確認する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【各会派の一般的な名称】 **自民・無**：自民党・無所属の会 **公明党**：公明党 **ハート**：ハートフル北九州 **共産党**：日本共産党 **維新の会**：日本維新の会 **自民未来**：自民未来 **変革**：変革と成長 **井上し**：井上しんご **村上さ**：村上さとこ **若松**：若松を愛する会

《第4回 カフェトーク in 北九州 ～議員とまちを語ろう～》を開催!

令和4年10月29日（土）、市民の皆様に市議会をもっと身近に感じていただくことを目的に、本市の課題をテーマとした市民と市議会議員とのトークイベントを開催しました。

今年度は、「市制60周年を迎える北九州市のこれから」と題して、以下の2つのテーマについて意見交換を行いました。

1. 挨　　拶 北九州市議会 議長 鷹木　研一郎

2. 意見交換 テーマ①「北九州の魅力～外から見た北九州」

《北九州市議会議員》
大石　仁人（小倉北区）
金子　秀一（小倉南区）
篠原　研治（小倉北区）

《出演者》
宮坂　春花様（株式会社Mahal.KitaQ）
吉田　結佳様（北九州市プロモーションアドバイザー）
平山　敬太様（GMOインターネットグループ株式会社）
牧浦　佑樹様（北九州市立大学2年）

テーマ②「誰もが住みやすいまちを目指して」

《北九州市議会議員》
西田　一（小倉南区）
大久保無我（八幡西区）
永井　佑（八幡西区）

《出演者》
籠田　淳子様（有限会社ゼムケンサービス）
佐々木遥香様（kidscham北九州）
成田　詩歩様（株式会社西原商事ホールディングス）
中山俊太朗様（九州工業大学博士後期課程2年）

※当日の様子は「YouTube北九州市議会チャンネル」でご覧いただけます。
https://www.youtube.com/watch?v=ilg6guSYTDE

市議会の虚礼廃止へのご理解を!

公職選挙法では、次のことが禁止されています。

- ●議員や後援会が寄附をしたり、有料のあいさつ広告を出すこと。
- ●議員や後援会が儀礼的な祝儀、香典、供花を出すこと。
- ●議員や後援会がお中元やお歳暮などをすること。
- ●議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと。（自筆の答礼は除く。）
- ●市民や団体が議員に寄附などを求めること。

このほか北九州市議会では、**祝電**や**弔電**の**自粛**を申し合わせています。市民の皆様のご協力をお願いします。

「平和のまちスタディツアー」で議事堂見学

令和4年6月1日から、市内の小学校6年生を対象に、平和のまちミュージアムとその周辺施設を見学する「平和のまちスタディツアー」が行われています。

同ツアーの見学施設の一つに議事堂が入っており、48校、約2,600人の児童が訪れました。模擬選挙や議場等の見学を通じて、児童は議会や選挙の仕組みについて学びました。

常任委員会の役職・所属の変更

令和3年5月15日号でお知らせした委員について変更がありましたのでお知らせします。

委員名	所属委員会	役職
香月 耕治	教育文化委員会	副委員長
吉村 太志	教育文化委員会	委員
大石 仁人	環境水道委員会	委員